

稲作情報 No.7

〔6月15日水稻調査結果〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会)
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2017inasaku.html>

畦畔草刈り実践デー 1回目:6月17日(土)、18(日) 2回目:7月1日(土)、2日(日)

例年カメムシ類による斑点米の発生が多い。

斑点米発生防止のため地域ぐるみでカメムシの生息場所となる水田周辺の除草を行いましょう。

大麦刈取跡の雑草はモア等により細断し、カメムシの生息場所をなくしましょう。

水稻

【農業試験場のコシヒカリの生育】(6月15日)



圃場の外観

適期田植えコシヒカリ(5/19植え)



稲株の拡大
(茎数平均19.8本/株)



圃場の外観

直播コシヒカリ(5/9播種)



稲株の拡大
(茎数197/m²)

- ・6月に入ってから低温により、全般に生育が遅れ、コシヒカリでは葉色が薄い。
- ・コシヒカリでも目標茎数を確保できている圃場もあるので、茎数を確認して目標茎数に達した圃場では遅れずに溝切り・中干しを行いましょう。

【今後の栽培管理】

品種	今後の管理									
<p>適期田植え コシヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ目標茎数を確保していない圃場もある。 ・目標茎数（350～380本/m²程度）を確保するまで、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促進する。 ・目的は、無効分けつ抑制、根腐れ防止と根を下向きに伸ばす、田面を硬くして収穫直前まで入水を可能にする。 ・暗渠を利用して速やかな排水を心がける。 ・中干し期間は幼穂形成期直前まで。乳白や胴割粒の発生を防ぐため、間断通水を収穫直前まで行えるようにする。 <p>【ケイ酸資材施用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に稲体が弱い圃場は、6月25日頃までにケイ酸質資材を施用する。ようりんならば40kg/10a。 ・稲体が軟弱だと葉いもちが発生しやすい。発病している場合は治療効果のある薬剤を散布する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1239 237 1487 279">中干しの程度</th> <th data-bbox="1487 237 2001 279">水田の条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1239 279 1487 322">強い</td> <td data-bbox="1487 279 2001 322">地力のある湿田、生育が旺盛な圃場</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1239 322 1487 365">弱い</td> <td data-bbox="1487 322 2001 365">乾田</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1239 365 1487 408">間断通水程度</td> <td data-bbox="1487 365 2001 408">地力のない砂質浅耕田</td> </tr> </tbody> </table>	中干しの程度	水田の条件	強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場	弱い	乾田	間断通水程度	地力のない砂質浅耕田
中干しの程度	水田の条件									
強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場									
弱い	乾田									
間断通水程度	地力のない砂質浅耕田									
<p>湛水直播(カルパー) コシヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標茎数を確保した圃場では速やかに中干しを開始する。中干しの程度については、上記の適期田植えコシヒカリと同様。 <p>【中期深水管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茎数過剰な圃場で実施。水深10cmの状態で9葉期（7月上旬）まで水位を保つ。（詳細はhttp://www.agri-net.pref.fukui.jp/shiken/hukyu/data/h23/01.pdfを参照。） <p>【葉いもち予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直播は移植に比べて稲体が軟弱で予防粒剤を散布していないので、本田での発病に一層注意する。 									
<p>移植 ハナエチゼン イクヒカリ あきさかり</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中干しを幼穂形成期直前まで実施する。ただし降雨がない日も続くので田面の状態を確認して1cm以上のヒビが入らないようにする。 ・幼穂形成期以降は間断通水を行う。 <p>【幼穂形成期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農試のハナエチゼン（5月2日植え）の幼穂形成期は平年で6月27日。 ・分施肥系では、幼穂（長さ1～2mm）を確認して穂肥を施肥する。穂肥施用の準備をしておく。 									

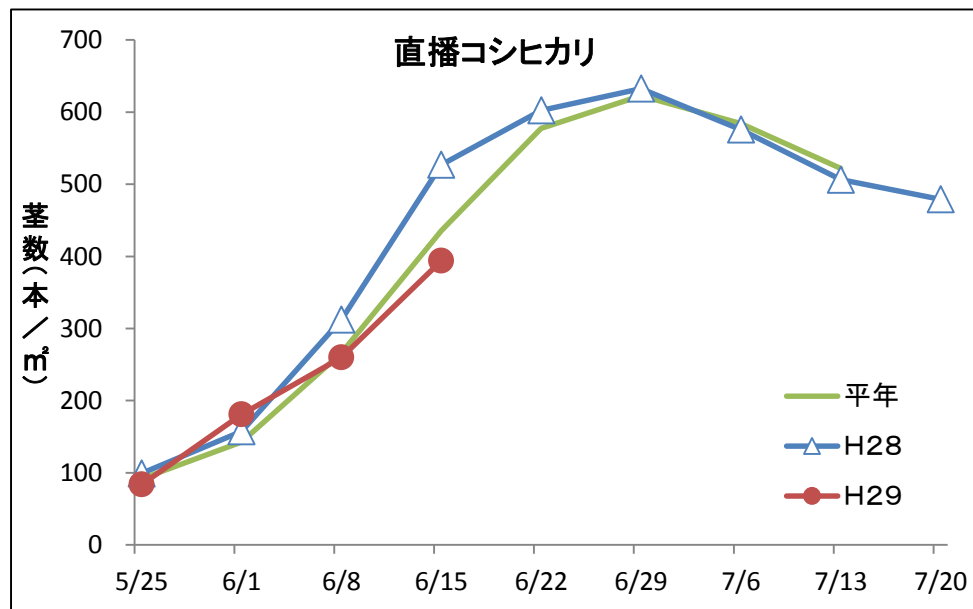
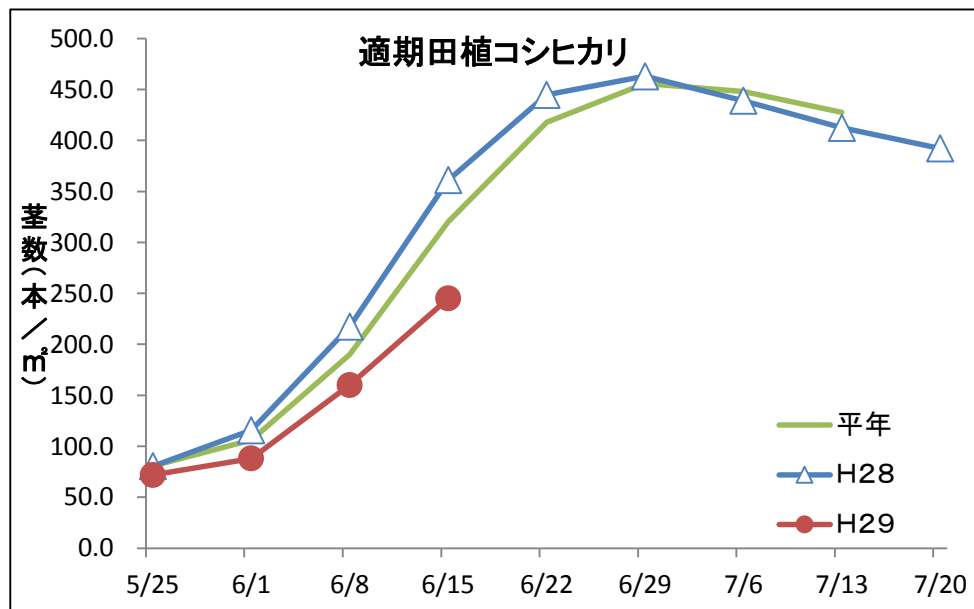
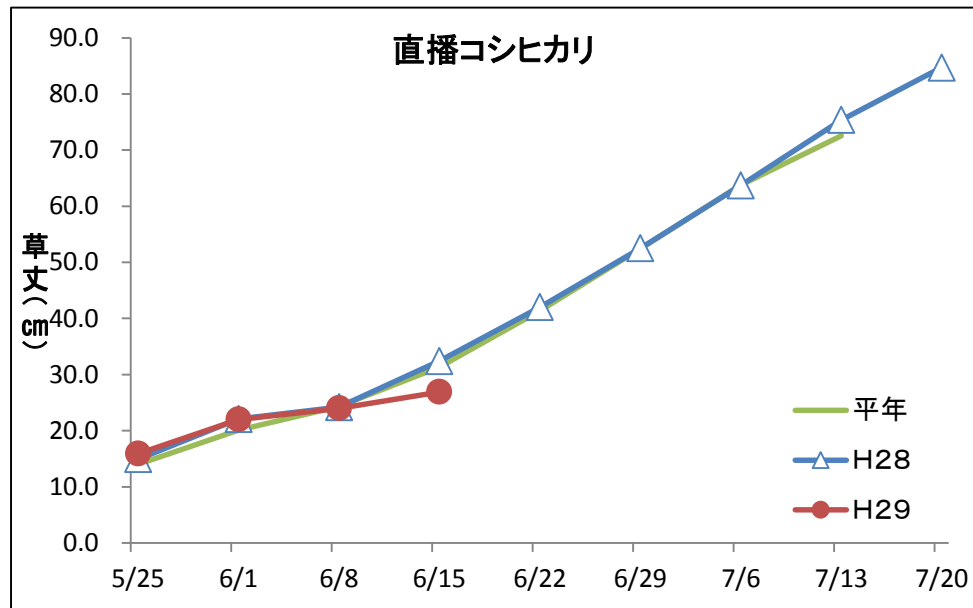
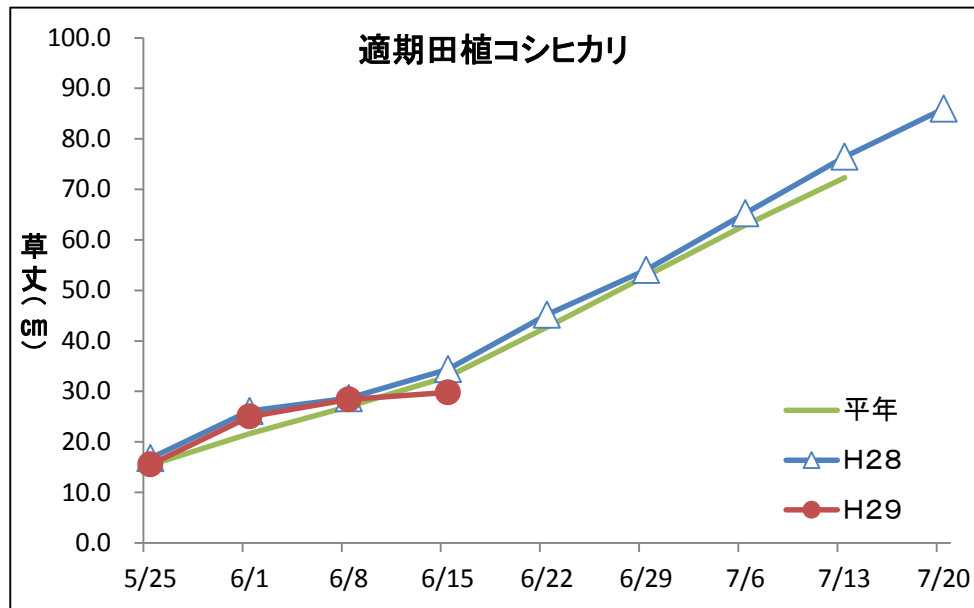
【病害虫等の発生状況と対策】

病害虫	発生状況と対策																																																																																																				
<p>葉いもち</p>	<p>【発生状況】 BLASTAM（ブラスタム）によるいもち病の感染好適条件出現状況 （●感染好適条件日 ○準好適条件日） ・ 6月11日に美浜で感染好適条件が出現している。その7～10日後に葉いもちの広域初発が予想され、粉剤や液剤での防除時期は広域初発の7日後である。</p> <p>【対策】 ・ 予防粒剤の苗箱施薬や本田散布を行っていない圃場、常発地、遅植えや直播栽培、生育が旺盛で葉色が濃く葉が垂れている圃場などで特に注意して観察する。 ・ 圃場を見回って、発病を見つけたら治療効果のある薬剤を散布し蔓延を防ぐ。 ・ 補植用の置き苗はすぐに撤去する。 ・ ケイ酸質資材は稲体を硬くしていもち病菌の侵入を抑制する効果がある。最高分けつ期頃に施用する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>6/08</th> <th>6/09</th> <th>6/10</th> <th>6/11</th> <th>6/12</th> <th>6/13</th> <th>6/14</th> <th>6/15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三国</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>春江</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>越廼</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>福井</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>勝山</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>大野</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>今庄</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敦賀</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>美浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		6/08	6/09	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	三国	-	-	-	-	-	-	-	-	春江	-	-	-	-	-	-	-	-	越廼	-	-	-	○	-	-	-	-	福井	-	-	-	○	-	-	-	-	勝山	-	○	-	-	-	-	-	-	大野	○	○	-	-	-	-	-	-	今庄	-	-	-	○	-	-	-	-	敦賀	-	-	-	-	-	-	-	-	美浜	-	-	-	●	-	-	-	-	小浜	-	-	-	○	-	-	-	-
	6/08	6/09	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15																																																																																													
三国	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																													
春江	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																													
越廼	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																													
福井	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																													
勝山	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																													
大野	○	○	-	-	-	-	-	-																																																																																													
今庄	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																													
敦賀	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																													
美浜	-	-	-	●	-	-	-	-																																																																																													
小浜	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																													
<p>紋枯病</p>	<p>【発生状況】 ・ 予察では初発は平年並の6月6半旬、被害程度は少発。発生量は平年並み、前年より多い。</p> <p>【対策】 ・ 紋枯病が発生した圃場では、菌核が残っており次作の伝染源となる。前年に発生があった圃場では必ず防除を行う。 ・ 穂ばらみ期以降の粉剤、液剤散布でも十分防除できない地域では、早めに粒剤を散布する。</p>																																																																																																				
<p>斑点米カメムシ類</p>	<p>【発生状況】 ・ 5月中旬からアカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメ等の越冬世代成虫が畦畔雑草で発生している。多年生イネ科雑草が繁茂しているところでは、ホソハリカメムシ等の越冬成虫が発生している。</p> <p>【対策】 ・ 6月下旬から7月上旬にかけて、カメムシ類の生息場所となる水田周辺雑草の除草を行う。 ・ 例年、早生でカメムシ類による斑点米が多い。 ・ 畦畔草刈りや大麦収穫後の雑草すき込みなど、薬剤散布に加えて地域ぐるみで総合的な防除を行う。 畦畔草刈り実践デー：1回目 6月17日（土）、18日（日） 2回目：7月1日（土）、2日（日）</p>																																																																																																				
<p>除草</p>	<p>・ 雑草の取りこぼしがある場合は、発生している草種にあわせ、中期除草剤や後期除草剤を使用する。 ヒエ クリンチャー1キロ粒剤（湛水散布）、ワンステージ1キロ粒剤（湛水散布）など 広葉雑草 バサグラン粒剤およびバサグラン液剤（落水散布） ヒエ+広葉雑草 ヒエクリーンバサグラン粒剤（ごく浅く湛水して散布）、ワイドアタックSC（落水散布）など クサネム ノミニー液剤（落水散布）</p> <p>・ 除草剤の使用にあたっては、使用基準（使用時期、使用量、成分ごとの使用回数、散布方法、水管理方法等）を必ず守る。</p>																																																																																																				

【生育調査結果】

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/1	移植 4/29	移植 5/19	直播 5/9	移植 5/15	直播 5/8	移植 5/15	直播 5/3	移植 5/27	直播 5/8	移植 5/2	移植 5/15	移植 5/17
草丈 (cm)	本年	34.7	38.6	36.2	29.9	23.7	30.1	24.9	29.8	26.9	26.7	23.4	31.9	27.4	28.5
	平年	37.8	39.9	35.1	30.5	27.4	33.8	34.6	32.9	31.3	32.4	33.5	36.2	32.1	34.8
茎数 (本/m ²)	本年	778	540	476	412	197	344	310	254	394	82	215	809	334	225
	平年	609	520	465	368	356	363	471	320	435	288	442	651	352	414
葉齢 (枚)	本年	9.1	9.1	8.5	7.3	6.3	7.5	7.2	6.6	6.5	4.5	5.4	9.1	7.3	7.5
	平年	9.3	9.0	8.7	7.4	6.6	7.5	7.1	7.3	7.0	7.4	7.2	9.3	7.3	8.5
葉色 (葉色板)	本年	4.8	5.1	4.7	4.6	4.1	4.3	4.0	4.2	4.3	3.5	4.3	5.3	4.6	4.0
	平年	4.8	5.0	4.7	4.5	4.3	4.6	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	5.0	4.9	4.9
幼穂 形成期	本年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	6/27	6/27	6/29	7/12	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/15	7/12	7/9	7/14	7/11

【コシヒカリ生育経過】



ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

NO	地名名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一級産	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あわむこ産	ハナエチゼン	移植	坂井平
45	坂井農産一級産	ハナエチゼン	移植	坂井平
64	坂井農産二級産	コヒカリ	移植	坂井平
66	坂井一級産	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	坂井二級産(産)	コヒカリ	露作	坂井平
112	あわむこ一級産(産)	コヒカリ	露作	坂井平
56	坂井農産一級産	あきさかり	露作	坂井平
113	坂井農産二級産	コヒカリ	露作	坂井平
70	高丹二級産(産)	コヒカリ	露作	高丹平
71	高丹一級産(産)	コヒカリ	露作	高丹平
72	高丹二級産(産)	コヒカリ	露作	高丹平
73	津久二級産(産)	コヒカリ	露作	高丹平
74	三郷二級産(産)	コヒカリ	露作	坂井平
75	九郎一級産(産)	コヒカリ	露作	坂井平
76	九郎二級産(産)	コヒカリ	露作	坂井平
83	坂井二級産	あきさかり	露作	高丹平
115	九郎一級産	ハナエチゼン	移植	坂井平

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

6月15日 11時 福井県の週間天気予報

【天気予報】

日付	16	17	18	19	20	21	22
	金	土	日	月	火	水	木
福井県	曇時々晴	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	曇	曇	晴時々曇
降水確率(%)	20/20/0/10/20	20	20	40	40	20	
信頼度	/	/	A	A	C	C	B
最高(℃)	22	26	28	29	26	27	28
最低(℃)	17	15	17	17	18	17	17
		(13~16)	(15~18)	(15~18)	(16~19)	(15~18)	(15~19)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

携帯電話ではQRコードで簡単アクセス